

平成26年3月26日（水）

会 議 録

+

+

平成 26 年

乙訓福祉施設事務組合議会第 1 回定例会会議録

+

+

開会：平成26年 3 月 26 日

乙訓福祉施設事務組合議会

+

平成26年乙訓福祉施設事務組合議会第1回定例会

目 次

○出席議員	1
○欠席議員	1
○事務局職員出席者	1
○説明のため出席した者	1
○議事日程	2
○開 会	3
○日 程 1	会議録署名議員の指名	3
○日 程 2	会期の決定	3
○日 程 3	管理者諸報告	3
○日 程 4	例月出納検査結果の報告	5
○日 程 5	第 1号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	5
○日 程 6	第 2号議案 乙訓福祉施設事務組合表彰条例の一部改正について	6
○日 程 7	第 3号議案 平成25年度乙訓福祉施設事務組合一般会計補正予算（第2号）	8
○日 程 8	第 4号議案 平成26年度乙訓福祉施設事務組合一般会計予算	9
○閉 会	20

平成26年乙訓福祉施設事務組合議会第1回定例会

議 事 日 程

平成26年3月26日(水)

午前10時00分開議

○出席議員(9名)

向日市	飛鳥井 佳子 議員	新矢 宗弘 議員
	常盤 ゆかり 議員	
長岡京市	白石 多津子 議員	武山 彩子 議員
	三木 常照 議員	
大山崎町	小泉 興洋 議員	波多野 庇砂 議員
	安田 久美子 議員	

○欠席議員

なし

+

+

○議会事務局職員出席者

半田 麻子 書記

○地方自治法第121条の規定により、説明のため出席した者(11名)

久嶋 務	管理者(向日市長)
小田 豊	副管理者(長岡京市長)
江下 傳明	副管理者(大山崎町長)
岩崎 英樹	監査委員
藤本 正次	事務局 局長
大八木 貴之	会計管理者(向日市会計管理者)
河原崎 清隆	事務局次長兼総務課長
渡辺 三知雄	事務局次長兼乙訓若竹苑施設長
中川 仁夫	乙訓ポニーの学校施設長
関本 信夫	介護障害審査課長
長藤 登	障がい者相談支援課長

○議事日程

- 日程 1 会議録署名議員の指名
- 日程 2 会期の決定
- 日程 3 管理者諸報告
- 日程 4 例月出納検査結果の報告
- 日程 5 第 1 号議案
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 日程 6 第 2 号議案
乙訓福祉施設事務組合表彰条例の一部改正について
- 日程 7 第 3 号議案
平成 25 年度乙訓福祉施設事務組合一般会計補正予算（第 2 号）
- 日程 8 第 4 号議案
平成 26 年度乙訓福祉施設事務組合一般会計予算

○会議録署名議員

向日市 常盤 ゆかり 議員
大山崎町 波多野 庇 砂 議員

(開会 午前10時05分)

○小泉興洋議長 おはようございます。

ただいまの出席議員数は9名であります。

それではただいまから、平成26年乙訓福祉施設事務組合議会第1回定例会を開会いたします。

これより日程に入ります。

日程1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第75条の規定によりまして、向日市の常盤ゆかり議員、大山崎町の波多野庇砂議員を指名いたします。

日程2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今、定例会の会期は、本日1日限りといたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、よって、会期は本日1日限りといたします。

日程3、管理者諸報告であります。

久嶋管理者。

○久嶋 務管理者 おはようございます。

本日ここに、平成26年乙訓福祉施設事務組合議会第1回定例会を招集させていただきましたところ、議員各位には何かとお忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

それでは、昨年12月定例会以降の報告をさせていただきます。

最初に、総務課の関係であります。

1月16日に乙訓行財政問題協議会幹事会、2月3日に乙訓市町会定例会において、平成26年度の一般会計予算案及び事業概要につきまして協議を行いました。

また、3月5日に公平委員会を開催し、組合からの報告をさせていただき、意見交換をさせていただきました。

次に、若竹苑の関係であります。

現在の利用者数は、就労継続支援40名、生活介護6名、合わせて46名であります。なお、就労移行支援の利用はございません。市町別では、向日市6名、長岡京市25名、大山崎町6名、京都市3名であります。地域活動支援センター事業及び日中一時支援事業の登録者数は、それぞれ20名と48名となっております。

行事の関係であります。2月26日に家族会と共催で、「お楽しみ会」を行いました。

次に、各事業についてご報告いたします。

就労継続支援事業では、2月に山城人権フェスタ・障がい者ワークフェア in 乙訓等のイベントに参加し、自主製品等の販売をさせていただきました。生活介護事業では、3月12日に外出レクレーションでいちご狩りに出かけました。地域活動支援センター事業では、苑庭で育てた野菜を収穫し、調理実習等で活用しております。

最後に、年度末の支援は就労継続と生活介護が3月28日までで、新年度は4月3日から支援開始としております。なお、地域活動支援センター・日中一時支援事業は通常通りの支援を行っております。

次に、介護障害審査課の関係であります。

まず、介護認定審査会の昨年4月から本年2月までの審査状況であります。お手元に配付させていただいております資料の1ページにその概要を記載しておりますが、合議体を198回開催し、5,437件の二次判定を行いました。

次に、障害程度区分認定審査会ではありますが、同じく昨年4月から本年2月までの審査状況であります。資料の2ページをご覧ください。合議体を21回開催し、209件の二次判定を行いました。

次に、障がい者相談支援課の関係であります。

乙訓圏域障がい者自立支援協議会では、1委員会、3部会と4プロジェクトを組織し、本年度活動のまとめに向けた協議を進めております。

「医療的ケア」委員会では、「入院時コミュニケーション支援」について協議を進めており、二市一町の健康福祉部長に報告書を提出いたしました。次年度に向けて、短期入所の検討を始めております。

地域生活支援部会では、昨年度より制度化されました放課後等デイサービス事業の実施を含め、向日が丘支援学校の卒業生の進路問題等の協議を進めております。

相談支援部会では、今年度より本格的に始まりました計画相談について、説明会を実施しました。次年度も計画相談、モニタリングについて、さらに協議を進めていく準備をしております。

発達障がい児・者支援部会では、教育と福祉の連携を進めるための「子どもの発達を支援するために」を発行し、障がいのある人の生涯を通した支援を円滑にするため、支援ファイル等情報共有の課題を協議しております。

4つのプロジェクトにおいても、乙訓圏域の課題に沿った具体的取り組みを進め、次年度に向けて課題を整理しております。

乙訓障がい者虐待防止センターについては、障がい者虐待事案の通告を受け、保健所・二市一町の行政と連携し、適切に対応しております。各相談支援事業所との交流や障がい者虐待防止に関する研修会の実施等の啓発活動を進めております。

今年度4月1日に設置されました乙訓障がい者基幹相談支援センターでは、総合的・専門的な相談支援の実施を目指し、困難事例を各市町や各相談事業所と協議し、成年後見制度利用支援なども行っております。

最後に、ポニーの学校の関係でございます。

まず、1月以降の利用状況ですが、現在88組の通園児並びに保護者の方が利用されております。内訳は、向日市28組、長岡京市49組、大山崎町11組でございます。

行事関係ですが、1月19日に下半期の家族懇談会を開催いたしました。3月4日には、「子どもたちをとりまく家庭について」と題して、両親教室を行いました。また、明日3月27日には、この春小学校に入学する児童とその保護者を激励するため、ポニーの学校父母の会と共催で「就学児を送る会」を開催する予定でございます。

以上、諸報告でございます。

○小泉興洋議長 以上で、管理者諸報告を終わります。

日程4、例月出納検査結果の報告であります。

監査委員の報告を求めます。

岩崎監査委員。

○岩崎英樹監査委員 それでは、ご報告申し上げます。

地方自治法第235条の2第1項の規定に基づく例月出納検査を、平成25年12月25日、平成26年1月24日及び2月21日に実施いたしましたので、同法第235条の2第3項の規定により、ご報告を申し上げます。

検査結果につきましては、お手元にお配りいたしました報告書のとおりであります。なお、報告書にありますとおり、各月の出納などにつきましては適正に処理されておりました。

以上で例月出納検査結果の報告を終わります。

○小泉興洋議長 以上で、例月出納検査結果の報告を終わります。

日程5、第1号議案、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための

法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

久嶋管理者。

○久嶋 務管理者 第1号議案、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、いわゆる障害者総合支援法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について、ご説明申し上げます。

本法律につきましては昨年4月から施行されましたが、「障害程度区分」について、障害の多様な特性その他の心身の状態に応じて、必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示す「障害支援区分」に改められるため、本年4月1日施行で関係条例の整理をするものでございます。

以上、提案理由の説明とさせていただきます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○小泉興洋議長 説明が終わりました。これより質疑に入ります。

何かございますか。

(「なし」の声あり)

質疑もないようですので、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、反対討論を求めます。

(「なし」の声あり)

次に、賛成討論を求めます。

(「なし」の声あり)

ご意見もないようですので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

第1号議案について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

挙手全員であります。よって、第1号議案は原案のとおり可決することに決しました。

○小泉興洋議長 日程6、第2号議案、乙訓福祉施設事務組合表彰条例の一部改正についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

久嶋管理者。

○久嶋 務管理者 第2号議案、乙訓福祉施設事務組合表彰条例の一部改正について、

ご説明申し上げます。

従来、永年勤続者に対しては、条例に基づき表彰状及び金品の贈呈をしておりましたが、金品の贈呈につきましては、社会情勢や構成団体等を鑑み、公費負担による必要性が低いため廃止するものであります。

なお、今年度からの適用とするため、施行日を平成26年1月1日としております。

以上、提案理由の説明とさせていただきます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○小泉興洋議長 説明が終わりました。これより質疑に入ります。

ご意見ございませんか。

常盤議員。

○常盤ゆかり議員 勤続年数に応じて、これまで表彰状と金品を贈呈されていたということですが、どのような区切りでこの表彰というか、そういう方々に勤続年数、渡されていたかということと、それから職員の方々とももちろんお話はされていると思うんですけれども、納得をもちろんされてるということでしょうか。

○小泉興洋議長 藤本事務局長。

○藤本正次事務局長 職員の永年勤続につきましては、基本10年、20年、30年と、この三つの区切りで行っておりまして、勤続表彰合わせまして、従来は20年の方で1万円相当額、30年の方で2万円相当額の、品物なんですけれども、贈呈させていただいております。

これにつきましては、長年慣習としてやってまいりましたけれども、近年、構成団体あるいは他の乙訓の事務組合におきましても廃止されているという流れがございますので、この際、当組合でも廃止したいなというのがまず1点ございます。

また、このことにつきましての職員の皆様方への周知、あるいは労働組合等への周知に関しては、もう既に終えておりまして、一応ご理解はいただいているものと理解しております。

○小泉興洋議長 他にございませんか。

(「なし」の声あり)

それでは、質疑も尽きたようですので、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、反対討論を求めます。

(「なし」の声あり)

次に、賛成討論を求めます。

飛鳥井議員。

○飛鳥井佳子議員 いいことだと思います。今、時代がこういうふうに変化している中で、金品というのほどこでもこれからやめていくべきだと思いますし、民生委員の人にまで金品というか、品物を与えたり、表彰するような、そういう市もある時代なんですけど、やはりそういうボランティアの精神とか、きちっと、そういう表彰とか、よく匿名で寄附とかいうのは私はいいと思うんだけど、名前を出して寄附行為とかいうのも、ああいうのもやはりこれからの時代はあまりいいことじゃないというふうにも思っていましたので、特に公務として頑張っておられる皆さんに、大変ご苦勞ではありますが、やはりそういうのを励みとするのは、やはり表彰状だけでいいかと思います。

○小泉興洋議長 他にございませんか。

(「なし」の声あり)

それでは、ご意見もないようですので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

第2号議案について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

挙手全員であります。よって、第2号議案は原案のとおり可決することに決しました。

○小泉興洋議長 日程7、第3号議案、平成25年度乙訓福祉施設事務組合一般会計補正予算(第2号)を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

久嶋管理者。

○久嶋 務管理者 第3号議案、平成25年度乙訓福祉施設事務組合一般会計補正予算(第2号)について、ご説明いたします。

今回の補正につきましては、民生費におきまして、過年度分の障がい者虐待防止に係る国庫補助金の返還金111万2,000円と、勸奨制度による早期退職職員に対する割増支給分に伴う退職手当組合への特別負担金229万3,000円を増額し、その額を予備費から充当するものであります。よって、既定の歳入歳出予算総額に増減はございません。

以上、提案理由の説明とさせていただきます。よろしくご審議賜りますようお願い

い申し上げます。

○小泉興洋議長 説明が終わりました。これより質疑に入ります。

何かございませんか。

(「なし」の声あり)

質疑もないようですので、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、反対討論を求めます。

(「なし」の声あり)

次に、賛成討論を求めます。

(「なし」の声あり)

ご意見もないようですので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

第3号議案について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

挙手全員であります。よって、第3号議案は原案のとおり可決することに決しました。

○小泉興洋議長 日程8、第4号議案、平成26年度乙訓福祉施設事務組合一般会計予算を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

久嶋管理者。

○久嶋 務管理者 第4号議案、平成26年度乙訓福祉施設事務組合一般会計予算について、ご説明いたします。

本組合の構成団体である二市一町は、依然厳しい社会経済情勢のもとで、財政の健全化に向けて、厳しい姿勢で取り組まれているものでございます。

本組合におきましても、構成団体の状況と厳しさを十分認識した上で、より計画的な財政運営を図り、事務事業全般を見直す努力を続けながら、よりよい事業を運営するため、当該予算の調製を行ったところであります。

それでは、その概要についてご説明申し上げます。

平成26年度の予算総額は3億8,933万1,000円で、対前年度比2.8%、金額で1,109万円の減額となっております。

なお、詳細については、事務局長からご説明させていただきます。よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○小泉興洋議長 藤本事務局長。

○藤本正次事務局長 それでは、最初に26年度予算の内容につきまして、まずはその性質別概要からご説明いたします。

お手元の予算資料の2ページをご覧ください。

予算総額の前年度比較は1,109万円の減額でございますが、その主な理由は、ポニーの学校の移設に伴う起債の償還が25年度で終了したことに伴いまして、公債費が1,754万円の減額となったことによるものでございます。

一方で、人件費が764万3,000円の増額となっておりますが、これは定期昇給や人事異動に伴う常勤職員及び非常勤職員の給与費の増額によるものでございます。

それでは、各事業別の歳出の内容につきまして、その概略をご説明いたします。26年度予算書の9ページをお開き願います。

まず、款1議会費につきましては、195万1,000円で、前年度より42万2,000円の増額となりました。主な理由としましては、今回、議会視察研修が泊を伴うため、旅費の増額によるものでございます。

次に、款2総務費でございます。目1の一般管理費は、5,645万3,000円で、前年度に比べ96万7,000円の減額となりました。主な内容としましては、総務課職員の給与費のほか、共済年金の標準報酬制への移行に伴う人事給与システムの改修委託料を計上いたしました。なお、その他の物件費につきましては、前年度と内容、金額ともに大差はございませんので説明を省略させていただきます。

続きまして、11ページをお開き願います。

基金費、公平委員会費、監査委員費につきましては、昨年度と同様でございます。

次に、その下の款3民生費、項1社会福祉費でございます。目1若竹苑管理費は1億3,185万9,000円で、前年度に比べ174万9,000円の減額となっております。その主な減額理由は、施設改修計画に基づく工事費を計上しなかったこと及び人事異動による人件費の減額によるものでございます。

また、26年度の新規事業といたしましては、障がい者相談支援事業の実施を予定しております。

物件費につきましては、節18備品購入費で地域活動支援センターでの作品づくりに使用しておりますプリンターの買い替え費用を計上しておりますが、そのほかは前年度と内容、金額ともに大差はございません。

次に、13ページをお開き願います。

目2若竹苑授産事業費は、655万3,000円で、前年度に比べ32万3,000円の増額でございます。これは若竹苑の授産事業に伴う収入の増額を見込んでおりますことと連動したものでございますが、このうち節12の作業工賃は前年度よりも45万円増額しております。

次に、目3介護保険認定事業費は、7,880万円で、前年度に比べ7万2,000円の増額でございます。主な経費につきましては、節1報酬では、介護認定審査会委員報酬が1,555万2,000円で、前年度と同額でございます。審査会は4名の審査員で実施し、九つの合議体がそれぞれ月2回審査会を開催しており、全体で1か月に18回、年間では216回の審査会の開催を見込んでおります。

次に、節8報償費は、かかりつけ医意見書作成謝礼2,813万8,000円で、前年度と比べ157万3,000円の減額でございます。これは介護認定有効期間が新規及び区分変更の場合、最大12か月まで延長となることにより、申請件数が前年度より583件少ない6,430件と見込んでおりますことによるものでございます。そのほかのものにつきましては、前年度と大差はございません。

次に、14ページをお開き願います。

目4障害程度区分認定事業費は、1,485万5,000円で、前年度に比べ4万1,000円の減額でございます。主な経費につきましては、節1報酬では障害程度区分認定審査会委員報酬として216万円、前年度と同額でございます。審査会是一个の合議体は5名の審査員で構成され、2合議体がそれぞれ月1回、年間では24回の開催を見込んでおります。

節8報償費では、かかりつけ医の医師意見書作成料として126万2,000円を計上しております。前年度と比べまして10万7,000円の減となっております。これは、障害程度区分認定制度が平成18年4月に始まり、3年ごとの更新のため、平成26年度は更新のはざまの年に当たることから、審査件数が減少すると見込んでいるためでございます。その他につきましては、前年度と大差はございません。

次に、目5障害者相談支援ネットワーク事業費で500万円を、これは前年度と同額でございます。事業内容は、前年度と同様に、主に乙訓圏域自立支援協議会の事務局の業務でございます。

次に、目6障がい者虐待防止・基幹相談支援センター事業費1,312万3,000円で、前年度に比べ159万5,000円の増額となりました。これは、それぞれのセンター業務が自立支援協議会の事務局の業務量が増えてきております関係か

ら、補助職員としてのアルバイトの事務職員の賃金を新たに計上したことが主な理由でございます。

次に、16ページをお開き願います。

項2児童福祉費、目1ポニーの学校管理費は、7,949万7,000円で、前年度に比べ679万5,000円の増額となっております。その主な理由は、人事異動に伴う人件費の増額によるものでございます。物件費では、節8報償費で31万5,000円を計上しておりますが、これは療育の専門性をより一層高める観点から、理学療法士や作業療法士並びに心理師とのケース検討会や研修の機会を増やしております。

また、節11需用費でございますが、修繕関係では、利用児の安全を確保するため、プレイルームなどでは、修理と感覚統合遊具のメンテナンス並びに調整を定期的に実施しようとするものでございます。その他の経費につきましては、前年度と大差はございません。

続きまして、歳入についてご説明いたします。6ページまでさかのぼってお開き願います。

款1分担金及び負担金、項1分担金、目1市町分担金、2億7,332万7,000円で、前年度に比べ358万1,000円の減額でございます。その内訳としましては、節1の市町分担金は1億9,455万1,000円で、前年度に比べ365万3,000円の減額となっております。

また、節2介護保険分担金は7,877万6,000円で、前年度に比べ7万2,000円の増額となっております。

次に、項2負担金、目1障害福祉サービス事業負担金、7,615万円で、前年度に比べ859万5,000円の減額となっております。これは若竹苑の支援費収入でございますが、従来ございました支援費の加算措置が廃止されたことによるものでございます。また、就労継続支援事業の利用者につきましては、向日市が6名、長岡京市が25名、大山崎町が5名、京都市が3名の計39名となりまして、前年度よりも2名の増員を見込んでおります。

また、生活介護事業につきましては、向日市が2名、長岡京市が4名の計6名の利用となっております。また26年度からの新規事業となります障がい者相談支援事業に伴う収入を、節7で29万3,000円計上しております。

次に、目2地域生活支援事業負担金で、64万7,000円、前年度に比べ7万3,000円の増額となりました。この事業につきましては、市町の負担金に相当

する金額を、こちらは分担金としていただいておりますので、こちらの方に計上しておりますのは、利用者の方の個人の負担部分だけということになっております。

次に、目3障害児通所支援等事業負担金、2,167万5,000円で、前年度に比べ254万2,000円の増額となっております。これはポニーの学校の事業に対する支援費収入ですが、増額の主な理由は、相談支援事業の収入の増額によるものでございます。また、利用児童の市町別内訳は、向日市が28名、長岡京市が49名、大山崎町が11名の計88名となっております。

次に、7ページをお開き願います。

款2国庫支出金、項1国庫補助金、目1民生費補助金、291万2,000円ですが、これは障がい者虐待防止対策事業に係るコストの部分でございます。前年度よりも金額が減りましたのは、補助の対象となる経費に変更があったことによります。

次に、款3府支出金、項1府補助金、目1民生費補助金、500万円で、昨年度と同額でございます。これは京都府障害者相談支援ネットワーク事業費に係ります補助金でございます。

次に、款4財産収入、項2財産売却収入、目1物品売却収入、655万3,000円で、前年度に比べ32万3,000円の増額でございます。これは若竹苑の授産収入でございます。

次に、款6諸収入、項2雑入、目1雑入、202万2,000円で、前年度に比べ14万5,000円の増額でございます。これは食数の増加によります職員の給食費自己負担金の増額によるものでございます。

以上、概略ではございますが、説明を終わります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○小泉興洋議長 説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

何かございませんか。

波多野議員。

○波多野庇砂議員 13ページの3の介護認定審査会委員報酬ですけど、1,555万円ですね。これ全体で216回というご説明やったんですけども、1回当たり大体7万円という勘定でいいんですかね。

○小泉興洋議長 関本介護障害審査課長。

○関本信夫介護障害審査課長 お一人1万8,000円でございます。4名でさせていただきます。そういうことでございます。

○小泉興洋議長 波多野議員。

○波多野庇砂議員 メンバーの方というのは、どんな方、お医者さんとか、そんな感じですか。

○小泉興洋議長 関本介護障害審査課長。

○関本信夫介護障害審査課長 乙訓医師会の医師が32名、それから福祉の専門職、この地域の介護福祉の施設の方とか、そういった方が27名、合計63名でございます。

○小泉興洋議長 飛鳥井議員。

○飛鳥井佳子議員 障がい者虐待防止の相談員さんが頑張ってくださって、予算も強化されてるのでうれしいんですけど、来たとき、看板が、せっかく作っていただいたんだけど見えないんですね、あまり。そういうところがあるということを知ってもらうために、もう少し位置を変えろとか、ちょっと作業をしていただけたら助かるなと思うんですけど、その方々が相談をしやすいようにしていただけたらなあと。

例えば、最近、みんな家が古くなってきて、住宅を改築したりするときに、第1種低層住専のところで、ちょっと、もう少し高くして、上に、3階建てじゃないけど小部屋を作りたいような改築をされたりとか、容積率の関係とか、うまくやって、やる場合に、たまたまお隣がハンディのある方のお宅だと、境界線とか、または屋根の上に作業をして、その家の屋根に穴を開けてしまうとか、お月さんが見えちゃったみたいな家にしてしまわれるときとかあるんですよ。

相手があまりそのことに抗議できないタイプの方というのは、そのために結構近隣トラブルで泣き寝入りになったりとか、そういうときに町内会長がしっかりしてたりして、何とかお救いしたり、新しく家を建て直した業者に、こちらの家を傷めたことの補償をさせろとか、そういうふうなことを、気がつけばいいんだけど、訴えないと、そのまま、あまり家を潰されても分からないとか、そういう割と色々そういういざこざがあって、それで結局そのことが騒ぎになると、京都府に言われて工期が遅れたりして、建築違反だということで。それで反対に逆恨みをされたりする場合もあるんですね。ハンディをお持ちの方の方が、家を潰されたにも関わらず、近所づき合いが余計やりにくくなったりとか。

それとか、案外、民生委員の方が同調して、その方が、例えばプランターの花がなくなったら、悪い噂を立ててる人にしかる立場にあってほしいけども、案外民生委員の方も困るねと相づち打ったりとか、そういうこともあったりして、非常に、

チクチクと、そういう近隣トラブルで、弱い人に、今、何か、色々……

○小泉興洋議長 飛鳥井議員。要点をもっと端的に発言してください。

○飛鳥井佳子議員 いじめが起こってるようなことがあるので、だから、そういう方が弁護士を立ててというのは大変なお金がかかるので、それで、そういう障がい者が、それも私は身体的な虐待ではないが、近隣中からのいろんないじめ的なことがある場合も、そういうことを受けとめられるような相談の窓口として、あってほしいと思うんですね。行政がまず一番ですけどね、その自治体の。だから、そういうので、そういうのが大きくありますよということを、看板を見えやすくしてほしいということで、今ガレージのフェンスにつけてあるんだけど、あれではほとんど見えないので、どっちからも、少し高い所に上げるとか、そういうふうをお願いをしたいということで、そういう予算がもしかかるなら、次の補正でもまたお願いしたいなということで、よろしく申し上げます。

○小泉興洋議長 再度申し上げますけども、要点のみ端的に質問をお願いします。

他にございませんか。

常盤議員。

○常盤ゆかり議員 若竹苑の新規事業として相談支援事業を始められるんですけれども、この春から、平成26年度からという新規ですが、職員さんの確保とかは、もうできているんでしょうか。

○小泉興洋議長 渡辺次長兼若竹苑施設長。

○渡辺三知雄事務局次長兼乙訓若竹苑施設長 昨年、相談支援専門員の資格を得るための研修に3名の職員が参加いたしまして、一応3名ともとってまいりましたので、兼務という形にはなるんですが、そこから始めたいというふうに思っております。

○小泉興洋議長 常盤議員。

○常盤ゆかり議員 3名の職員さんが兼務されると、分かりました。

○小泉興洋議長 安田議員。

○安田久美子議員 11ページの民生費のところ、施設改修費を今度上げておられないというふうに聞いたように思うんですけど、それで正しいのでしょうか。

○小泉興洋議長 藤本事務局長。

○藤本正次事務局長 施設の改修、こちらはまだ新しいので、ほとんど若竹苑のことなんですけれども、施設の改修に関しましては、年次計画の方を立てておるんですが、本来ならば26年度は若竹苑の空調設備が、もう17年ほどたってますので、ぼちぼちリニューアルの時期を迎えるというのは、もう数年前からちょっと考えて

おるんですけど、非常に二市一町の財政も厳しい中、何とか、ちょっと補強的なことで乗り切れへんかというお言葉もありましたので、26年度に関しては、それで何とかいけるかなと、25年度に少し大きなことをやらせていただきましたので、それで少し延期というような、中止ということではないんですけども、26年度にはその工事はしないということで、というふうに考えております。

○小泉興洋議長 安田議員。

○安田久美子議員 先ほどの全員協議会のところの話になって、生活介護とかの、そういう部屋とかも使用する、来年度の卒業生の方のこととかがあったので、そういうことも考えて、施設を改修するとか、少しそういうふうな形というのは、もう全然考えておられないということなんでしょうか。

○小泉興洋議長 藤本事務局長。

○藤本正次事務局長 施設の改修と申しますのは、実は生活介護で、もし増員しようとしたと、場所が今の場所では足りない。その隣の場所が空いているんですけど、間仕切りとかございますので、その辺を取り払うというような改修が必要なんですけれども、ただ、そのためには、その場所というのは、そもそも就労移行事業の方のスペースということで、ずっととらまえておまして、現在は職員会議等々でそこを使っているんですけども、もし生活介護を増員するということであれば、当然そのスペースが必要になりますので、その部分を例えば間仕切り等取り払ったり等々の改修をしていかなければいけないということなんですけれども、まずその大前提として、若竹苑が増員するかどうかについては、まだ決定しておりませんので、その点については26年度予算でも上げておりませんし、ということになります。

○小泉興洋議長 飛鳥井議員。

○飛鳥井佳子議員 15ページの研修参加料というのが、障がい者相談支援ネットワーク事業費で、その内訳というか、少し教えてほしいんですけど。

○小泉興洋議長 長藤障がい者相談支援課長。

○長藤 登障がい者相談支援課長 アメニティフォーラムへの参加その他で、府の主催の相談支援事業者研修会等への参加費ということで、上げさせていただいております。

○小泉興洋議長 常盤議員。

○常盤ゆかり議員 先ほどの生活介護事業の今後のスペースのこと、決定はまだ、今回の予算にも載ってないので、これまで使われていた就労移行支援事業のスペースなんですけれども、その活用もそうなんですけど、今後、前回の12月の議会でも、

保護者の方から我々議員に要望書みたいなのが届けられて、ぜひ若竹苑を希望されて、そこでぜひこの事業で利用したいという旨が届いてたんですけども、結局、全員協議会でもご報告いただいたように、二人とも違うところを、行かれると。お一人は週2回この若竹苑でデイを使われるということですけども、今後、向日が丘支援学校なり、どんどん毎年、6人とか7人とか、それこそ5年間で50人近い方々とか、なると思うんですけども、増える一方と言えば増える一方、その方々を全部受けとめるというのは、やっぱり本当に困難ではあると思うんですけども、やはりその受け入れるための基盤と言うか、づくりもそうですし、まず責任を持ってその方々の今後をどうするかという、やっぱり協議はここら辺でちょっと本格的に必要なではないかなと思うんです。

もちろん、就労移行支援事業の施設を改修したところで、全然焼け石に水だろうと思うんですけども、ぜひ、二市一町、やっぱりこの我々議会とも合わせて、ぜひこの辺でそういう相談というか、本腰を入れて、この地域に住んでられる、若竹苑ないし周辺の民間の事業所も含めて、この地域で生活をしていきたい、それは親御さんの思いでもありますし、それはご本人の思いももちろんあるでしょうし、ちょっとそういう時期ではないかなと、できない、できない、もちろん財政的にも大変ですけども、ちょっと少ない財源の中からできることをまず始める、協議をするということがまず一番だと思うんですけども、その点について、いかがでしょうか。ちょっと決定のしどころじゃないかなと思うんですけども。

○小泉興洋議長 久嶋管理者。

○久嶋 務管理者 向日が丘支援学校の卒業生の行き先の問題については、本当に悩ましいところがございます。今、議員がおっしゃいましたように、二市一町の行政と我々とも、これからそういうことについて、本格的に議論していかなければならない時期だと思っております。

就労移行支援のスペースを生活介護用にあけるという案も、いろいろ考えさせていただきましたけれども、やはりそれはもう小手先のことですので、やはり根本的にどういうふうにやっていかなければならないかというのは、真剣に、二市一町の福祉担当部と我々と、やっていく必要があると思っております。

○小泉興洋議長 安田議員。

○安田久美子議員 根本的な話といたしますと、基本的には受け皿を大きくしていったということになると、建物を建てて増やしていくということになるしか、結果的にはそれしかないと思うんですけども、規模的に、これからの話の中心としては、や

はり新しく建物を建てて受け皿を増やしていくという方向で、二市一町の話し合いというのがなされるということで、ちょっと何かうまいこと、根本的と言われるのは、そういうことというふうな理解でいいのでしょうか。

○小泉興洋議長 久嶋管理者。

○久嶋 務管理者 民間のいろんな福祉施設もございますので、そういうところともよく連携して、受け入れ体制も考えていかなければならないと思っております。

○小泉興洋議長 安田議員。

○安田久美子議員 そういうことになりますと、小手先のことになってきますし、足りないということがもう目に見えてきているということなので、ぜひとも二市一町の方で、この若竹苑そのものについても、やはり規模的にも拡大をしていってほしいなあと、いつも跡地なんかどうするんですかと、私も、ここ2回ぐらい聞かせていただいたんですけども、やはり二市一町にお返しするのが私の今のところ仕事だと言ってはるんですけども、そういうところ辺の有効利用なんかもやはり考えていっていただきたいし、大きくするしか解決策はないと思っておりますので、その点は、根本的のところというのは、そこを重々考えていただきたいし、財政も大変やということとはよう分かってるんですけども、やはりそういうことを中心に考えていっていただきたいなというふうに思います。要望いたしておきます。

○小泉興洋議長 飛鳥井議員。

○飛鳥井佳子議員 民生費の若竹苑のところで、報償費のところで、苦情解決第三者委員謝礼というのが11ページにあるのと、ポニーの学校の方で5,000円というのがあるんですけど、これは委員の方はどういう資格の方かというのと、それと、これを支出されたことを、これまでに、予算化されてるわけで、これまでにあったのかということ聞きたいです。

○小泉興洋議長 渡辺次長兼若竹苑施設長。

○渡辺三知雄事務局次長兼乙訓若竹苑施設長 苦情解決第三者委員につきましては、若竹苑もポニーの学校も、舟木弁護士にお願いしておりますので、これまでにご相談させていただいたケースといたしますのは、3、4年前に、ちょっと利用者間、あるいは職員も絡んでのトラブルがございましたときがありまして、そのときに舟木先生の方にご相談させていただいたというのがございます。

1回当たり来ていただきましたら、交通費程度なんですけど5,000円ということをお願いしておりますので、若竹苑の場合には、前例もございましたので、一応2回分ということで計上させていただいております。

○小泉興洋議長 飛鳥井議員。

○飛鳥井佳子議員 私、小さい障がい児さんとか、今もう大人になってる方もたくさんいらっしゃるんですが、40年ぐらい、地域で子供会をやってる関係で、未成年という、5編ぐらいになってる、すごくいい、地域で障がい者が生きていくのに、すごくよくわかるし、若い人たちがどれほどピュアで、そしてどれほど本当に障がいを持ってる方と向き合って、すばらしい生き方をしてるかというのがすごくいいテーマの未成年という映画があって、かなり有名な俳優の人たちが出てるんですけど、それが非常に理解されるというか、SMAPの方もその役をやっておられるんですけどね、すごくいい映画、映画というか、今結構また見られてるんです。

そういうのも、ぜひ、地域で取り入れてやっていただくと、非常に理解が広がると思いますので、ちょっとだけご提案させていただきます。

○小泉興洋議長 他に、ございますか。

(「なし」の声あり)

それでは、質疑も尽きたようですので、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、反対討論を求めます。

(「なし」の声あり)

次に、賛成討論を求めます。

常盤議員。

○常盤ゆかり議員 要望だけを伝えさせていただきます。

先ほども質疑、答弁もいただいたんですけども、生活介護事業、やはりもう待ったなしの状態、今後の向日が丘支援学校なりの卒業生の状況を見てますと、やっぱり待ったなしの状況ではあると思いますので、民間のもちろん事業所さんに色々受け皿となっていていただくのは、本当に必要不可欠だと思います。でも、あくまでも受け皿ということで、やはりここで責任を持っていただいて、本当にしっかりと二市一町として、それから、乙訓福祉施設事務組合ということで、ここで、地域に住んでおられる方々の今後、本当の生活を支えるということで、ぜひとも公的な役割として、ここで示していただきたいと思います。今後それを期待いたしまして、全体の予算にはもちろん賛成いたしますので、意見として言わせていただきました。

○小泉興洋議長 それでは、ご意見も尽きたようですので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

第4号議案について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

挙手全員であります。よって、第4号議案は原案のとおり可決することに決しました。

○小泉興洋議長 以上で、本日の議事日程は全て終了いたしました。

それでは、これもちまして、平成26年乙訓福祉施設事務組合議会第1回定例会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。ありがとうございました。

(閉会 午前11時00分)

+

地方自治法第123条第2項の規定により下記に署名する。

乙訓福祉施設事務組合議会議長 小 泉 興 洋

会 議 録 署 名 議 員 常 盤 ゆかり

会 議 録 署 名 議 員 波多野 庇 砂

+

+

+